

目次

目次

概要	. 3
はじめに	. 3
ハードウェアの特徴	.4
同梱物	. 5
システム要件	. 5
使用を開始する	.6
イージースタートツール	.6
Macの場合	.7
Windowsの場合	. 8
iPadの場合	.9
すべてのユーザー1	0
手動による製品登録1	0
DAW でのオーディオセットアップ1	0
Hindenburgのオーディオセットアップ1	11
使用例1	12
マイクで録音する1	12
マイクの使い方ガイド1	13
オートゲインを使用する1	15
手動によるゲイン調整1	16
マイクのミュート1	8
エンハンスを使用する1	8
ヘッドフォンを使用する1	19

	スピーカーを使用する	
	モバイル機器からの音声を録音する	
	Bluetoothを使用する	
	Bluetoothアイコンのそれぞれの色の意味	
	ビデオカメラに録音する	24
,	Vocaster Hubソフトウェア	25
	マイクの調整	
	ミックスの調整	
	コンピュータからのサウンドを録音する	
	ループバックの使用例	
	各チャンネルをソフトウェアで録音する	29
;	各部の名称と特徴	
	トップパネル	
	リアパネル	32
	仕様	
	性能仕様	
	物理的特性と電気的特性	
	トラブルシューティング	
	著作権および法定通知	
	クレジット	

概要

はじめに

Vocaster Two Studioへようこそ。Vocaster Twoイン ターフェースは、プロ品質のポッドキャストを簡単 に収録できる製品です。Vocaster Twoおよび付属の Vocaster Hubソフトウェアを使うと、コンピュータや カメラ、iPadに高品質の音声コンテンツを録音できま す。vlogクリエーターやナレーター、ライバー、オーデ ィオブッククリエーターなど、あらゆるコンテンツクリ エーターに最適な製品です。

Vocaster Twoは、初心者から熟練者まで、経験レベル を問わずあらゆるユーザーを対象としています。オー トゲインやエンハンスなど様々な機能を備え、クリア で安定したサウンドを素早く録音できます。

Vocaster Hubソフトウェアは、シンプルな使い勝手を コンセプトに開発されました。各種設定に簡単にアク セスでき、番組を自由にミックスし、好みのレコーディ ングソフトウェアやストリーミングソフトウェアに転送 できます。 Vocaster Twoインターフェースは、2つの独立した高 品質マイクプリアンプを備えます。それぞれのマイク でホストとゲストの声を最高の音質で収録します。

付属のUSBケーブルでVocaster TwoのUSB-Cポート とコンピュータを接続すれば、ストリーミングを生配 信することも、録音した番組を後で編集してから公開 することもできます。有線もしくはBluetooth経由で対 応の機器を接続することで、音声による双方向のやり 取りも可能になります。電話インタビューやその他の 音声をモバイル機器から取り込み記録できます。また カメラの映像と同期させてオーディオトラックを記録 することも可能です。配信や収録の状況は、ヘッドフォ ンやスピーカーでモニターできます。

Macでは、Vocaster Twoインターフェースを繋げるだ けでお使いいただけます。ドライバーのインストール は不要です。 USB Cポートを備えるApple iPadにも接続でき、タブ レット機器の利点である可搬性と利便性を活用でき ます。

お探しの情報が本ユーザーガイドで見つからなかった場合は、support.focusrite.comにアクセスしてください。スタートガイドやセットアップガイド、技術サポートをご利用いただけます。

Vocaster Twoのセットアップと使い方が学べるビデ オシリーズは、Get Startedでご覧いただけます。

ハードウェアの特徴

Vocaster Two Studioのパッケージには、Vocaster Twoオーディオインターフェース、Vocaster DM14v高 品質ダイナミックマイクロフォン、Vocaster HP60vヘッ ドフォンが含まれています。またソフトウェアも付属さ れており、いつでも収録を開始できます。

Vocaster Twoインターフェースを使うと、macOSまた はWindowsコンピュータに高品質マイクロフォンを 接続できます。ラップトップやタブレットの内蔵マイク よりも高音質に音声を収録可能です。

マイク入力は、ダイナミックマイクやコンデンサーマ イクなど、様々なタイプのマイクに対応しています。コ ンデンサーマイク使用時は、必要に応じてVocaster Twoからファンタム電源(48V)を供給することも可能 です。

Vocaster DM14vは、音声収録に特化したダイナミッ クマイクですが、お持ちのマイクをVocaster Twoで使 用することもできます。 マイク信号をUSB-C経由でコンピュータのオーディ オレコーディングソフトウェアに送信し、ビットレート 最大24bit、サンプルレート48kHzの録音が行えます (24bit/48 kHzは、ポッドキャストの標準的なフォー マットです)。

レコーディングソフトウェアをお持ちでない 場合は、Vocasterに付属する無償ソフトウェア Hindenburgの使用をお勧めします。

リアパネルの3.5mmジャックソケットに適切なケー ブルを接続することで、スマートフォン等をVocaster Twoに接続できます。Bluetoothによる接続も可能で す。もう一つのソケットは、ビデオカメラへの接続に使 用します。

フォンコネクタはTRRSタイプです。TRRSは双方向の 信号を扱えるため、通話音声を録音したり、通話相手 に収録中の内容を聞かせることもできます。 Vocaster Twoには、ヘッドフォン用とスピーカー用の 出力があります。フロントパネルには1/4インチTRS ソケットを2つ備え、ホストとゲストが各々のヘッドフ ォンを使用できます。またリアパネルにはスピーカ ー接続用の1/4インチTRSソケットを2つ備えていま す。Vocaster Two Studioには、プロ品質のヘッドフォ ンVocaster HP60vが付属します。

トップパネルには多機能ノブが搭載され、マイク入力のゲインを調整するノブと、各ヘッドフォンのモニタリングレベルを設定する2つのノブがあります。

「Host」ノブは、外部モニタースピーカーのボリュー ムも調整します。マイクコントロールノブの周囲には、 マイク信号レベルを示す2つのカーブ状ハロメーター と、ゲイン設定を表示するリングハロメーターを備え ます。それぞれのマイクに対し3個の点灯式ボタンも あり、オートゲイン機能やエンハンス機能、ミュートの オン/オフを切り替えます。

またLED搭載のアイコンでは、ファンタム電源のオン/ オフやUSBの接続状況を確認できます。



同梱物

Vocaster Twoには、以下が含まれます。

- Vocaster DM14vダイナミックマイク、マイククリップおよび3/8イン チ-5/8インチスタンドアダプター付属。
- ・ Vocaster HP60vヘッドフォン
- マイクケーブル、XLR(オス-メス)
- USB-C USB-Aケーブル
- ・ スタートアップガイド(梱包箱内部に記載)
- 安全に関する重要な注意事項

Vocaster Twoには、DAWアプリケーションHindenburgを含むサードパーティ ーソフトウェアが付属します。詳細については、focusrite.com/Vocasterでご確 認いただけます。

システム要件

お使いのコンピュータのオペレーティングシステム(OS)がVocaster Twoに対応しているかを確認するには、ヘルプセンターの互換性リストをご参照ください。

互換性リストは、OSの新バージョンのリリースに応じて随時更新され、support. focusrite.comのヘルプセンターにてご確認いただけます。

5

使用を開始する

使用を開始する

Vocaster Twoをコンピュータに初めて接続すると、USBメモリー接続時と同様に認識されます。

イージースタートツール

イージースタートは、Vocaster Twoを簡単に使い始 めることができるオンラインツールです。イージース タートツールを使用するには、付属のUSBケーブルで Vocaster Twoとコンピュータを接続し、リアパネルの USBポート横にある電源ボタンを押します。

次ページ以降にて、イージースタートツールの使い方 を解説します。実際に画面の表示を確認しながら進 めることができ、初めてオーディオインターフェースを 使用する方でも安心してセットアップを行うことがで きます。



Macの場合:

Vocaster TwoをMacに接続すると、以下のポップアッ プ通知が表示され、そして/または、Vocasterアイコン がデスクトップに現れます。

Google Chrome • now
 Vocaster One USB detected
 Go to api.focusrite-novation.com to connect.



Google Chromeポップアップ通知



Vocasterイージースタートアイコン

アイコンもしくはポップアップをダブルクリックする と、以下のFinderウインドウが表示されます。



Click Here to Get Started.urlアイコンをダブルク リックすると、FocusriteウェブサイトのVocasterペー ジが表示されます。このページではVocasterの製品登 録を行えます。付属ソフトウェアパッケージにアクセス できるため、製品登録をお勧めします。



フォームを送信したら、用途別に表示される手順に従ってセットアップを行うか、直接アカウントにアクセス しVocaster Hubコントロールソフトウェアをダウンロ ードします。

Vocaster TwoをMacに接続すると、Vocaster Twoが デフォルトのオーディオデバイスとして設定されます。 設定されない場合は、システム環境設定 > サウン ドの「入力」と「出力」タブでVocaster Two USBを選 択します。

Windowsの場合:

Vocaster Twoをコンピュータに接続すると、以下の通知が表示されます。



通知ウインドウをクリックすると、以下のダイアログが 表示されます。



以下のファイルをダブルクリックします。

Open folder to view files(フォルダーを開いてフ ァイルを表示)

エクスプローラーウインドウが開きます。

)
🖸 🗹 =	Manage Vocaster Two USB	(F:)
File Home Share View	Drive Tools	
Pin to Quick Copy Paste access	ath nortcut to ~ to ~ to ~	New item * Easy access * New folder
Clipboard	Organise	New Open
Cuick access Cuic	Click Here To Get Started	CRead Me for more Info

以下のファイルをダブルクリックします。

Click Here to Get Started.

Focusriteウェブサイトが開きますので、製品登録を行うことをお勧めします。



フォームを送信したら、用途別に表示される手順に従ってセットアップを行うか、直接アカウントにアクセス しVocaster Hubコントロールソフトウェアをダウンロ ードします。

Vocaster Twoをコンピュータに接続すると、Vocaster Twoがデフォルトのオーディオデバイスとして設定さ れます。設定されない場合は、設定 > システム > サ ウンドを開き、「入力」と「出力」でVocaster Twoを選 択します。

iPadの場合:

注意:Vocaster TwoをiPadに接続する前に、前 述「使用を開始する」の手順に従い、Vocaster Hubで本体を最新の状態にセットアップするこ とをお勧めします。

Vocaster TwoをiPadOSデバイスに接 続するには、以下が必要です。

- USB-Cポートを搭載するiPad
- USB-C USB-Cケーブル(または付属の ケーブルとApple USB-A - USB-Cアダプ ター*)

*この接続方法の場合、Vocasterの動作に十分な電力を供給するために別途USBハブが必要になる場合があります。





接続方法

- USB-C USB-Cケーブル (またはアダプ ター)をiPadに接続します。
- 接続したケーブルのもう一方の端 を、Vocaster TwoのUSBポートに接続し ます。
- 3. ヘッドフォンまたはモニタースピーカー をVocaster Twoに接続します。

iPadの音が、Vocaster Twoの出力にルーティン グされます。Vocaster Twoの入力に接続したマ イクやその他のソースを、音声録音をサポート するiOSアプリに入力できます。

すべてのユーザー:

イージースタートツールの使用に問題がある場合 は、**More Info & FAQs**のファイルを開くことで、詳細 情報やFAQをご覧いただけます。

注意: Vocaster HubをWindowsコンピュータにイ ンストールすると、Vocaster Twoのドライバーが自 動的にインストールされます。 Vocaster Hubおよび Vocaster Windowsドライバーは、製品登録の有無に 関わらずいつでもダウンロード可能です。詳細は、以 下の「手動による製品登録」をご参照ください。

手動による製品登録

Vocaster Twoの製品登録は、こちらで後から行うこと も可能です。その場合はシリアル番号(UPN)を手動 で入力する必要があります。シリアル番号は本体の裏 面、または箱の側面にあるバーコードにも記載されて います。 製品の性能を最大限に引き出すため、Vocaster Hub ソフトウェアのダウンロードとインストールをお勧め します。Vocaster Hubは、downloads.focusrite.com からいつでもダウンロード可能です。

DAW でのオーディオセットアップ

Vocaster TwoはASIOまたはWDMをサポートする WindowsベースのDAW(録音ソフトウェア)、または Core Audioで動作するMacベースのDAWで使用で きます。上述のイージースタートツールの手順に従い セットアップを行うことで、Vocaster Twoをお好きな DAWで使い始めることができます。

Vocaster Twoは、USB経由ですべての入力ソースを 個別に録音でき、後でミックスの調整が可能です。ま たVocaster Hubソフトウェアからのステレオミックス であるShow Mix入力も録音可能です。 DAWアプリケーションをお持ちでない場合は、付 属のソフトウェアHindenburgをお使いいただけま す。Hindenburgは、Vocaster Twoの製品登録を行う ことで使用可能になります。インストールでお困りの 場合は、こちらのGetting Startedページでチュートリ アルビデオをご覧いただけます。

Hindenburgの操作方法については、アプリケー ションのヘルプファイルまたはhindenburg.com/ academyをご参照ください。

注意:DAWがVocaster Twoをデフォルトの入出力 デバイスとして自動的に認識しない場合は、DAW のオーディオ設定*でドライバーをVocaster Two/ Focusrite USB ASIOに手動で設定してください。ASIO またはCore Audioドライバーの設定方法について は、お使いのDAWの説明書(またはヘルプファイル) をご参照ください。

*設定画面の名称は、ソフトウェアによって異なります。

Hindenburgのオーディオセットアップ

右図は、WindowsおよびMac版 Hindenburgのオーディオ初期設定での正 しい設定例です。自動セットアップと手動 によるセットアップが行えます。

Preferences ページ(Mac版)

または **Tools > Options > Audioタブ** (Windows版)



Macの自動セットアップ

••		Preferences		
	Audio	nterface Adv	anced	
Playback:	Vocaster '	ſwo USB	1-2	٥
Record:	Vocaster	Гwo USB	3 1-2	٢
Record Mod	le .			
O Auto	Stereo	🔿 Mono 🕥 l	.eft 🔿	Righ
Default bit r	esolution:	16 bit 【	3	
Default sam	ple rate:	48000 Hz 🔇	3	
Current san	nple rate:	48000 Hz		
Temp. Folde	er: /Users/			
		Cano		OK

Macの手動セットアップ



Windowsの自動セットアップ

Vocaster Twoを各DAWで使用するための セットアップや操作方法が学べるチュート リアルビデオは、Getting Startedページで ご覧いただけます。

Playback: Focusrite USB ASIO Record: Focusrite USB ASIO □ Exclusive Mode ☑ ASIO Record Mode ☑ Auto O Stereo O Mono O Left O Right Default bit resolution: 16 bit Default sample rate: 48000 Hz Current sample rate: 48000 Hz	Audio In	terface Adv	anced		
Record: Focusrite USB ASIO □ Exclusive Mode ☑ ASIO ▲ ASIO ■ Auto ● Stereo ■ Mono ● Left ● Fault bit resolution: 16 bit ▼ ● Control Panel ● Auto ● Stereo ● Mono ● Left ● Right □ Default bit resolution: 16 bit ▼ □ Current sample rate: 48000 Hz ■	Playback:	Focusrite U	SB ASIO		~
Exclusive Mode Asto Asto Control Panel Auto Stereo Mono Left Record Auto Stereo Mono Left Right Default bit resolution: 16 bit Default sample rate: 48000 Hz Current sample rate: 48000 Hz Current sample rate: Current sample rate: Current sample rate	Record:	Focusrite U	SB ASIO		
✓ ASIO Control Panel Record Mode Auto Stereo ▲ Auto Stereo Mono Default bit resolution: 16 bit □ Default sample rate: 48000 Hz Current sample rate: 48000 Hz	Exclusion	ve Mode			
Record Mode Auto Stereo Mono Oteft O Right Default bit resolution: 16 bit ~ Default sample rate: 48000 Hz ~ Current sample rate: 48000 Hz	ASIO				rol Panel
Auto OStereo Mono OLeft ORight Default bit resolution: 16 bit Default sample rate: 48000 Hz Current sample rate: 48000 Hz Tomo Folder Officer(
Default sample rate: 48000 Hz Current sample rate: 48000 Hz Torne Folder Cilleorr/	Record M	lode			
Current sample rate: 48000 Hz	Record M Auto Default bi	O Stereo (t resolution:	Mono OL	eft C	Right
Tomp Folder C://Icorc/	Record M Auto Default bi Default sa	ode O Stereo (t resolution: mple rate:	0 Mono O U 16 bit 48000 Hz	eft C) Right
Temp. Polder. C./ users/	Record M Auto Default bi Default sa Current sa	t resolution: mple rate:	16 bit 48000 Hz 48000 Hz	eft C) Right

Windowsの手動セットアップ

使用例

Vocaster Twoは、ポッドキャスト生配信や音声 収録に最適なオーディオインターフェースで す。Mac、Windows、iPadに対応します。一般的な接続 例を以下に示します。

マイクで録音する

1本のマイクを用いて、Mac/Windows/iPad上のソフ トウェアで録音する場合の一般的なセットアップ例で す。ヘッドフォンで自分の音声とその他の再生音など をモニターしながら録音できます。

ヘッドフォンソケット以外のすべての接続端子は、リアパネルに集約されています。付属のUSBケーブルで コンピュータをUSBポート(+<-+アイコン)に接続し、 電源ボタンで本体の電源をオンにします。





マイク入力端子はXLRソケットで、Vocaster Two Studio付属のダイナミックマイクVocaster DM14v など、XLRコネクタを備えたマイクを接続できま す。Vocaster Twoインターフェースには、ダイナミック マイクの他、コンデンサーマイクやリボンマイクも接 続できます。ただし以下の理由から、音声収録にはダ イナミックマイクの使用をお勧めします。

- 通常ダイナミックマイクは、その他のマイクより感度が低いため、音声収録の品質低下の原因となる室内ノイズ(キーボードのタイプ音やマイク調整ノイズなど)を抑えられる特徴があります。
- 最適な音声分離で音声を収録できるように、マイクに口を近づけて話してください。ダイナミックマイクを使う事で、より高感度のマイクで拾いがちな破裂音(唇によるポップノイズ)やブレスノイズを最小限に抑えることができます。

マイクで録音する(続き)

Vocaster Studio付属のVocaster DM14vマイクロフォ ンは、音声収録に特化したダイナミックマイクで、ポッ ドキャスト配信やナレーション、オーディオブックなど 音声を使用するあらゆる場面に対応します。付属の XLRケーブルでVocasterのマイク入力に接続します。



2種類のダイナミックマイク

コンデンサーマイクを使用する場合は、必要に応じ てXLR入力にファンタム電源(48V)を供給できます。 ファンタム電源をオンにするには、Hostボタンまたは Guestボタンを軽く押して選択し、リアパネルの48Vボ タンを押します。ファンタム電源がオンになると、48V LEDが赤く点灯します。 Vocaster DM14vなどのダイナミックマイクを Vocaster Two Studioで使用する場合は、ファンタム 電源は不要です。ごくまれにファンタム電源によりマ イクが破損することがあります。

ダイナミックマイクを使用する際は、ファンタム電源を オフにすることをお勧めします。お使いのマイクがフ ァンタム電源を必要とするか不明な場合は、マイクの 取扱説明書をご確認ください。

マイクの使い方ガイド

マイクの取り扱い方法やテクニックについての詳細 は、本ユーザーガイドでは解説しておりませんが、初 めてスタジオ品質のマイクで収録を行う方のために、 いくつかの守るべきルールを以下に紹介します。

 まずはマイクレベルを適切に調整しま す。Vocasterのオートゲイン機能を使用するこ とで簡単に設定できます。ゲインを高くするこ とはよくある事です。マイクレベルが低すぎる 場合は、ゲインを上げるか、マイクに近づいて ください。またマイクレベルが高すぎる場合 は、ゲインを下げるか、マイクから少し離れま す。 マイクスタンドを使用します。Vocaster DM14v は、ダイナミックマイクであるためハンドリン グノイズは少ないですが、マイクスタンドを常 に使用することを推奨しています。Vocaster DM14vのショックマウントのネジ穴は、標準的 な5/8インチ規格です。付属のアダプターは3/8 インチにも対応可能です。ほとんどのマイクス タンドは、いずれかのネジ穴に対応します。



上から下に: マイクスタンド、ネジ穴アダプタ、Vocaster DM14v

マイクの使い方ガイド(続き)

 マイクの指向性について理解します。Vocaster DM14vは、エンドアドレス型マイクです。マイク の側面ではなく、先端に向かって話します。マイ クの向きを誤ると、本来のサウンドが収録でき なくなります。



ることはできますが、低域が強調され音声が少し不明瞭になることがあります。

これはナレーションには適していますが、マイ クから少し離れる(15~30 cm程度)ことで、よ り自然な音声を収録できます。ただし収録す る部屋によっては、マイクから離れるほど室内 の残響が音声に影響されるため、注意が必要 です。残響自体に問題がある訳ではありませ んが、音声収録においてはあまり適しておりま せん。

- テストを行う際は、マイクに息を吹きかけない でください。その代わりに、マイクの先端を軽く こすってテストします。
- マイクは、時計やエアコン、暖房器具、椅子のきしむ音など、室内の様々な音を拾います。

収録時には気にならなくても、それらのノ イズが録音データに残る可能性がありま す。Vocasterのエンハンス機能を有効にす るか、録音ソフトウェアでハイパスフィルター (HPF)を適用することで、不要な低域成分を 抑えることができます。

- マイクの角度を調整します。マイクを真っ直ぐ 自分に向けて収録するのが望ましいですが、ブ レスノイズが大きすぎたり、破裂音が気になる 場合は、マイクの向きを僅かに中心軸から外す ように調整することで、これらのノイズを抑える ことができます(破裂音とは、「パ行」や「バ行」 の発音で生じがちなポップノイズを指します)。 マイクの向きを調整しながら、最適な角度を見 つけます。
- マイクとの距離を調整します。マイクと近い距離
 (こぶし1つ分)で話すと、室内の残響音を抑え

オートゲインを使用する

Vocaster Twoのオートゲイン機能を使うと、適切な録音 レベルを設定できます。

オートゲインを有効にするには、**■** ボタンを使用しま す。ゲインを設定したいマイク(HostまたはGuest)の ボタンを長押ししてください。コンピュータでVocaster Hubを開いている場合は、画面の**オートゲイン**アイコン をクリックします。 次に、オートゲインを有効にしたマイクに向かって、本番 収録と同じように10秒間話してください。

ノブの内側のリングメーターがカウントダウンタイマ
 ーとして動作し、白色の点灯状態から反時計回りにフェ
 ードアウトしていきます。Vocaster Hubにもプログレス
 バーが表示されます。







Vocaster Hub

ソフトウェアまたは本体のボタンでオートゲインを有効 にすると、もう一方のチャンネルのすべての入力コント ロールが無効になります。



Vocaster Hubのカウントダウン

10秒後に、オートゲインによりマイク入力レベルが適切 に設定され、録音を開始できるようになります。 オートゲインを別のマイク入力にも設定する場合は、も う一方の **■■** ボタンを押し、同じ手順を繰り返します。

ゲインを設定した後でも、ゲインノブでいつでも入力レベルを微調整できます。調整したい入力が選択されていない場合は、その **■** ボタンを押してからノブを調整してください。

オートゲインで入力レベルが変更できない場合

ハロメーターが橙色に点滅した場合は、入力レベルが 大きすぎるか小さすぎるためオートゲインが適切なレ ベルを設定できず、最小または最大レベルに設定され たことを意味します。

メーターが赤く点滅した場合は、オートゲインが使用に 適したレベルを設定できなかったことを意味します。こ れは、マイクレベルが低すぎて引き起こされた可能性が あります。

- 別のマイクまたはケーブルで試してください。
- コンデンサーマイクを使用する場合は、48Vファ ンタム電源をオンにしてください。
- マイクの電源スイッチを入れてください(オン/オ フスイッチがある場合)。

手動によるゲイン調整

●アイコンが下にある本体中央のノブで、ホストおよびゲストのマイクのゲインと、録音ソフトウェアへの出力レベルを設定します。

2つのマイクプリアンプのゲインは個別に変更でき ます。Host ■■■ またはGuest ■■■ ボタンを押すと、 調整するプリアンプを選択できます(ボタンを長押 しするとオートゲイン機能が有効になります)。

ボタンは明るい白に点灯し、プリアンプが選択され たことを示します。

ノブを回してゲインを調整する際、左のハロメータ ーが白く光り、ゲイン設定の値を示します。



ゲインノブの周囲には、LED「ハロ」インジケーター があります。内側はリング状、外側2つはカーブ状に なっています。

外側にあるカーブ状のハロメーターは、マイク信号 レベルに応じて異なる色で点灯します。左のハロメ ーターはホスト入力、右のハロメーターはゲスト入 力のレベルを示します。



世界に向けて発信

マイクプリアンプのゲインを設定するには、目的 のマイク入力の **」** ボタンを短く押し、マイクに 向かって本番収録と同じように話しながら、声の ボリュームが最大の時に外側のハロメーターが 橙色になるようにノブを調整します。 この時、橙色が消えるまでノブを少し下げます。 ハロメーターの上部が赤になった場合は、レベ ルが高すぎて歪みの原因となるため、ゲインノブ を必ず下げてください(下図参照)。 ゲインは、Vocaster Hub画面のMic Levelスライ ダーでも変更できます。スライダーを右にドラッ グすると、ゲインが上がります。



Vocaster HubのHost入力



Vocaster HubのGuest入力







マイクのミュート いずれのマイクチャンネルも、ミュートボタン没を 備えます。



Vocaster Two

Host		48V	Guest		48
	Mic Level			Mic Level	
Ŕ	<i>.</i>		R		al.

Vocaster Hub

ミュートボタンを押してマイクをいつでも「オフ」に できます。マイクがミュート中は、ミュートボタンと オートゲインボタンは赤く点灯し、対応するハロメ ーターは赤くゆっくり点滅します。ミュートボタンを 再び押すと、ミュートが解除されます。

Vocaster Hubでは、いずれかのミュートボタンを押 すとミュートが有効になります(放送業界では、これ を「カフスイッチ」と呼びます)。

エンハンスを使用する

Vocaster Twoのエンハンス機能は、マイク信号を 最適に処理するため高音質での収録が可能になり ます。

マイク信号のレベル調整にコンプレッサーが、音声 をクリアにするためにイコライザーが、騒音やハン ドリングノイズなどの不要な低域成分を取り除くた めにハイパスフィルターが適用されます。

エンハンス機能は、いずれか一方もしくは両方のマ イク入力に使用できます。

4つのプリセットを選択でき、好みのサウンドに仕 上げることができます。Vocaster Hubでは、以下の プリセットをドロップダウンメニューから選択でき ます。

- Clean (クリーン)
- Warm (ウォーム)
- Bright (ブライト)
- Radio(ラジオ)

エンハンス機能は、ジボタンを押すと有効になります。Vocaster Hubでは、エンハンスアイコンをクリックします。



Vocaster Two

	Mic Level		Mic Level	
<u>R</u>		R		

Vocaster Hub

エンハンスを有効にすると、ボタンが緑色に点灯し ます。ボタンを再度押すと、無効になります。

ヘッドフォンを使用する

Vocaster Two Studioには、高品質なヘッドフォン HP60vが付属します。軽量で耐久性があり、長時間快 適に使用することができます。ヘッドバンドは調整可 能です。

HP60vヘッドフォンは、1/4インチ(6.35 mm)3極 (TRS)ジャックプラグを備えます。フロントパネルに あるヘッドフォンアイコンののソケットにヘッドフォ ンを接続し、収録内容をモニターできます。

これらの出力端子には、他のヘッドフォンも接続で きます。ジャックの形状が3.5 mm TRSの場合は、3.5 mm TRS - 1/4インチジャックアダプタを使用してくだ さい。

Vocaster Twoのヘッドフォン出力は、3.5 mm TRRSコ ネクタを備えるヘッドフォンでは正しく動作しない場 合があります。

これらのヘッドフォン出力からは、2つのマイク入力信 号、通話やコンピュータの再生音(ループバックチャ ンネル)など、収録中の音声と同じミックスがそのまま 出力されます。 それぞれのボリュームは、Vocaster Hubのミキサー で調整できます。

各ヘッドフォンボリュームは、本体のモニターレベル ノブで個別に調整できます。 Host 「いおよびGuest 「ノブでモニターレベルを調整します。これらのノブによるボリューム変更は、録音信号には反映されません。



focusrite.com

世界に向けて発信

スピーカーを使用する

Outputs RおよびOutputs Lと記載された1/4インチジャックは、スピーカーを接続するための出力端子です。

これらの出力には、パワードモニターやアンプを接続 できます。スピーカーのボリュームは、ヘッドフォンと 同じ【 ∩ノブで変更できます。

出力端子はバランス1/4インチTRSジャックソケット で、ラインレベル信号を出力します。小型のパワー ドモニターの多くは、コンピュータに接続すること を想定した3.5 mmアンバランスジャックプラグを備 えます。またパワーアンプの場合は、一般的にフォノ (RCA)ソケットを備えます。





スピーカーは、Vocaster Hubソフトウェアでもミュートできます。Vocaster Hubウインドウの右上にあるス ピーカーアイコンをクリックすると、ミュートのオン(赤)/オフ(黒)が切り替わります。



注意:スピーカーとマイクを同時に使用すると、フィー ドバックループが生じる恐れがあります。番組収録中 はスピーカーの電源をオフにし、ヘッドフォンのみで モニタリングすることをお勧めします。

モバイル機器からの音声を録音する

スマートフォン等をVocaster Twoに接続して通 話を録音したり、その機器で再生した音楽を取り 込むことができます。

接続は、リアパネルにあるフォンコネクタ しを使用します。端子は3.5 mm TRRSジャックソケットなので、3.5mm TRRS (一般タイプ)ケーブルでモバイル機器を接続します。

3.5 mm TRSケーブルも使用できますが、通話の やりとりができない場合があります。

3.5 mm端子がない機種の場合は、3.5 mm TRRS ヘッドフォンアダプタを使用できます。



 この
コネクタは、Vocaster Twoの出力をモバ イル機器側に送信するため、通話相手には自身 の声以外の番組全体のミックスを聞かせることが できます。これは「ミックスマイナス」と呼ばれるミ ックスで、自身の声が遅れて聞こえたり、エコーに なってしまうことを防げる利点があります。

モバイル機器へ送る信号レベルは、Vocaster Hubミキサーの入力チャンネルスライダーの位 置によって変わります。モバイル機器の音声入力 はモノラルマイクであるため、ステレオミックス をモノラル化した信号が送信されます。

Bluetoothを使用する

Vocaster TwoはBluetooth接続に対応します。スマートフォンなどのBluetooth機器とVocasterの間でオーディオストリームの送受信*を行い、番組に取り込むことができます。

モバイル機器とVocaster Twoで音声信号を伝送する には、機器同士をペアリングする必要があります。

ペアリングで音声トラブルを防ぐため、モバイル機器 とVocasterが、Bluetooth接続の有効範囲内であるこ とを必ず確認してください。障害物がない空間でおよ そ7メートル以内であれば、ペアリングが切れることは ありませんが、有効範囲外に近いとノイズや音飛びが 発生する原因となります。

Vocaster Twoは、一度に1台のBluetooth機器にしか 接続できません。

*Vocaster Twoは、通話中にのみBluetoothオーディオ信号 をモバイル機器に送信します。このとき通話相手には、ミッ クスマイナス(自身の音声以外のすべてのミックス)の信号 が送られます。 対応機器をVocasterのBluetooth入力にペアリング する。

 リアパネルの米ボタンを3秒間押し続けます。Bluetoothアイコンが白く点滅し、ペアリン グモードであることを示します。



- 2. Bluetooth機器でBluetoothペアリング設定画 面を開き、新規デバイスを検出します。設定方 法は機器によって異なるため、詳細は各ユー ザーガイドをご参照ください。
- 接続可能なデバイスリストから、Vocaster BT を選択します。
- 4. 確認メッセージが表示された場合は、Vocaster とBluetooth機器のペアリングを許可します。

数秒経過するとVocaster TwoのBluetoothアイ コンが青く点灯し、接続が確立されたことを示 します。Bluetooth機器でオーディオを再生する と、Vocaster HubのBluetoothミキサーチャンネルに 信号が入力され、Show Mixや収録音声にBluetooth 機器のサウンドを加えることができます。

Vocaster Twoに接続されたスピーカーや2つのヘッ ドフォン出力に対し、Bluetooth機器から音声をストリ ームすることも可能です。また、コンピュータのサウン ドやマイク入力信号をBluetooth経由でモバイル機 器に送信し、通話相手に聞こえるようにすることもで きます。

Bluetoothオーディオのレベルは、Vocaster Hubまた はBluetooth機器側で調整できます。Vocaster Hubで は、Show Mixのレベルのみを調整します。Bluetooth L/R録音トラックのレベルには反映されません。 注意:Vocaster Twoは、Bluetoothヘッドフォン とはペアリングできません。Vocaster Twoの Bluetooth機能は、Bluetoothオーディオ信号を 接続機器からVocaster Twoにストリーミングし、 そして機器に送信することで通話を可能にしま す。

Bluetooth接続を切断するには、3つの方法があります。

- リアパネルの米ボタンを押します。Bluetooth 接続を再度有効にすると、前回接続した機器と 再接続します。
- 接続機器のBluetooth機能をオフにします。Bluetooth機能を再度有効にすると Vocaster Twoと再接続されます。
- 接続機器のBluetooth設定でVocasterを選択し、機器をリストから削除します(設定方法はお使いの機器によって異なります)。

Bluetoothアイコンのそれぞれの色の意味

→ 灰色 - Bluetoothがオフです。リアパネルの
メ
ボタンを押すと、Bluetoothがオンになります。

一 橙色 - Bluetoothはオンになっていますが、機器が接続されていません。お使いのBluetooth機器と Vocasterを以前にペアリングしたことがある場合は、 機器のBluetooth機能がオンになっていること、また Vocasterとの距離がBluetooth接続の有効範囲内で あることをご確認ください。

Vocasterと初めてペアリングする機器を使用する場合は、まず上述の方法に従いペアリングを行ってください。

・ 白い点滅 – Vocasterがペアリングモード
 中です。機器をペアリングするには、前ページのステップ3からの手順に従ってください。

・赤色 - Bluetooth接続に失敗しました。 **メ**ボタンを押してVocaster TwoのBluetooth機能をオフにしてから接続機器のBluetoothを再度有効にし、前ページの手順を再び行ってください。Bluetoothアイコンが赤色から変わらない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

→ 青色 - Vocasterが機器とペアリングされ、Vocasterにオーディオをストリームする準備が出来ています。切断するには、
 ★ボタンを押すか、接続機器のBluetooth機能をオフにしてください。



Vocaster TwoのBluetoothアイコン

ビデオカメラに録音する

映像を扱う場合、音声をビデオカメラに直接記録す ることもできます。

Vocaster Twoのリアパネルには、このための出力 コネクタ (3.5 mm TRSジャックソケット) ♪があ り、3.5 mmジャックケーブルを使いマイク入力や その他の音声信号をカメラに送信することができ ます。

カメラの音声入力端子の形状が異なる場合は、カ メラに適したケーブルを使用してください。カメラ の音声ソースを、内蔵マイクではなく外部オーディ オに設定してください。

Vocaster Twoのカメラ出力は、USB出力と同じミッ クスで、ヘッドフォンやスピーカーで聞くものと同じ 信号が出力されます。

カメラに送信するミックスやレベルは、Vocaster Hubのミキサーで調整できます。



Vocaster Hubソフトウェア

イージースタートツールのセットアップの 際、Vocaster Hubソフトウェアをコンピュータにイン ストールできます。Vocaster Hubは、Vocaster Twoの 様々な機能にアクセスできるソフトウェアです。マイク 入力やその他の再生音などのミックスバランスを調 整できる、重要な機能も備えています。

重要: Vocaster Hubのユーザーガイドは、Focusrite ウェブサイトのダウンロードページから入手できま す。このユーザーガイドには、Vocaster Hubの使用 方法が詳しく記載されています。次のセクションで は、ソフトウェアの主な機能の概要のみを説明して いきます。

Vocaster Hubを起動する:コンピュータにVocaster Hubをインストールすると、インストール先に以下の アプリアイコンが表示されます。

アイコンをダブルクリックすると、Vocaster Hubが起動します。

Vocaster Two本体がコンピュータに接続されていな いか、電源が入っていない場合は、以下のウェルカム ページが表示されます。



画面下のHelp Centreまたは Contact Supportリンク から、ヘルプセンターとサポートページにアクセスで きます。チュートリアルビデオを含むVocaster Twoの 詳しい使い方についてもご覧いただけます。Vocaster Twoの電源をオフにすると、いつでもこの画面が表示 されます。 Vocaster Twoをコンピュータに接続して電源を入れると、 一アイコンが白く点灯しコンピュータとの通信を確認できます。しばらくするとVocaster Hubのコントロールページが表示されます。



<u>
アイコンが赤く点灯する場合は、コンピュータと通信できていない状態です。ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</u>

マイクの調整

Hostおよび**Guest**の入力パネルでは、Vocaster Two のマイクチャンネルを調整できます。

ost		 Guest		48V
	Miclaud		Miclard	
	IVIIC Level		INIC LEVEL	

Mic Levelは、2つのマイクに対しそれぞれ表示され ます。各マイク入力に、レベルメーターとレベルコント ロールを備え、灰色のバーをドラッグしてゲインを調 整します。この操作は、本体のロータリーゲインノブで も同様に行うことができます。

カラーバーはマイクの信号レベルを示し、これも本体 の信号レベルのハロメーターと連動しています。 バーの色は通常緑色で、ピークレベルに達すると橙 色になります。赤色になった場合は、ゲインの設定が 大きすぎることを意味します。

メーター/レベル表示の下にある以下の3つのボタンは、本体トップパネルと同じボタンです。

- Mute クリックすると、マイクがミュートになります。ミュート有効時は、ボタンとレベル表示が赤色に点灯します。このとき本体のミュートおよびオートゲインボタン、そしてミュートしたマイクのレベルメーター(カーブ状)が赤く点滅します。ボタンを再度クリックすると、ミュートが解除されます。
- Enhance ジークリックすると、エンハンス機能が有効になり、画面上と本体のボタン両方が緑色に点灯します。ボタンを再度クリックするとエンハンス機能が無効になります。
- Auto Gain ■■ クリックすると、オートゲイン機能が有効になります。本番収録と同じようにマイクに向かって10秒間話すと、ゲインが設定されます。



ミックスの調整

Mixセクションでは、Show Mixを構成するオーディオ 入力やコンピュータ出力のバランスを調整できます。

Mic Levelコントロールと同様、スライダーでメーター 表示とレベル調整が可能です。スライダーの操作は、 ヘッドフォン/スピーカー用のミックスやShow Mixの 録音に反映されますが、お使いの録音ソフトウェアの 各入力チャンネルレベルには反映されません。ミキ サーでは、以下のチャンネルが表示されます(左から 右)。

Host (モノ) – Vocaster Twoのホスト側マイク。

- Guest(モノ) Vocaster Twoのゲスト側マイク。
- Aux(ステレオ) リアパネルの コネクタに
 モバイル機器を接続する場合に使用します。
 接続機器から送信される音声レベルを調整し
 ます。
- Bluetooth(ステレオ) スマートフォンやその他の機器からBluetoothでオーディオをストリーミングする際に使用します。

- Loopback 1およびLoopback 2(ステレオ)

 コンピュータから再生される2つのオーディ オソースをコントロールします。インターネット や録音済みファイル、その他のソースを使用で きます。下の画面ではLoopback 2がクリップを 示しており、この場合は赤いクリップインジケ ーターが表示されなくなるまでソースレベルを 下げる必要があります。
- Show Mix (ステレオ) ミキサー全体の出力 レベルをコントロールします。

Loopback 2チャンネルのメーター上部の赤い部分 は、クリップインジケーターです。これは、**ソース**のレ ベルが大きすぎることを意味し、録音に歪みが生じる 恐れがあります。ただしBluetoothおよびLoopbackで は、頻繁にクリップインジケーターが表示されること があります。

クリップが表示された場合は、**ミキサー内のスライダ** ーではなく、ソース側のトラックレベルを下げてくださ い。ただしShow Mixがクリップした場合は、ミキサー 内のトラックレベルを下げてください。



focusrite.com

世界に向けて発信

コンピュータからのサウンドを録音する

Vocasterのループバック機能を使うと、コンピュータ 内のオーディオソース (ウェブブラウザーの音声出力 など)を録音できます。

Vocaster Hubミキサーには、2つのステレオ Loopbackスライダーがあります。これらはVocaster Twoの「仮想」入力を使用したチャンネルです。この仮 想入力は本体に入力コネクタを持ちませんが、他の 入力信号と同様に扱うことができ、DAWで録音でき ます。

別々のアプリケーションから各ループバック入力へ信 号を送信できます。ループバック入力に割り当てるア プリケーションは、各アプリケーションの出力設定で 選択します。

Macユーザーで、両方のループバック入力を使用する 場合は、こちらのサポート記事をご参照ください。

- Loopback 1 このチャンネルは、出力のル ーティングが再生チャンネル1-2に設定され ている、または出力のルーティング設定がで きないソフトウェアからの信号が入力されま す。Loopback 1では、以下のソフトウェアなど が使用できます。
 - インターネットブラウザ
 - SpotifyやApple Musicなどの音楽再生ソフトウェア
 - テレビ会議用ソフトウェア

- Loopback 2 このチャンネルは、出力のルー ティングが再生チャンネル3-4に設定されて いるソフトウェアからの信号が入力されます。
 設定については、各ソフトウェアのオーディオ
 設定で行いますが、出力のルーティング設定 ができないソフトウェアも存在します。詳細 は、お使いのユーザーガイドをご確認くださ い。Loopback 2に信号を送信できるソフトウエ アには、以下のものなどがあります。
 - お使いのその他の録音/再生ソフトウェア
 - VOIPおよびテレビ会議用ソフトウェア

ループバックの使用例

異なるソフトウェアの音声を個別に収録し、後でミッ クスを調整したい場合は、ループバック機能が便利で す。たとえば、ゲストとのビデオ通話や、オーディオ再 生ソフトウェアで再生したジングルの音などを使用し て番組を収録する場合。

テレビ会議用ソフトウェア (Zoomなど) は、デフォル トで再生チャンネル1-2に音声を出力します。この信 号は、Vocaster HubミキサーのLoopback 1チャンネ ルに入力されます。次に音楽再生ソフトウェアの出 力を再生チャンネル3-4に設定すると、その信号は Vocaster HubミキサーのLoopback 2チャンネルに入 力されます。

これで、お使いの録音ソフトウェアで各トラックを個別に録音できます。

- Loopback 1の信号は、DAWチャンネル11と12 に入力されます。
- Loopback 2の信号は、DAWチャンネル13と14 に入力されます。

詳しい操作方法は、Vocaster Hubユーザーガイド をご参照ください。

各チャンネルをソフトウェアで録音する

お使いの録音ソフトウェアによって異なりますが、最 大14チャンネルの信号を個別のトラックに録音可能 です。

各チャンネルは、以下の順番にDAWに入力されます。

DAW入力番号	Vocaster入力	内容
1	Video Call L	ループバック以外のすべての入力チャンネルのミックス。いわゆるミックスマイナス信号です。ビデオ通話のゲストは、自分の声を除いた
2	Video Call R	すべての番組内容を聞くことができます。
3	Show Mix L	番組全体を録音するための、すべての入力チャンネルのステレオミ
4	Show Mix R	ックス
5	Host Microphone	ホスト側マイク入力
6	Guest Microphone	ゲスト側マイク入力
7	Aux L	Vocaster Twoのフォン入力に接続されたモバイル機器からの2チャ
8	Aux R	ンネル信号
9	Bluetooth L	Pluotooth み 力かにの2チャンラル/信号
10	Bluetooth R	bluelootIIハリからのZリャンネル信号
11	Loopback 1 L	
12	Loopback 1 R	クノトウェアの再生テャンネルロ-2からの信号
13	Loopback 2 L	
14	Loopback 2 R	ノノドウェアの丹土テャノネル5-4からの信ち

各部の名称と特徴

トップパネル

大きなコントロールノブは、Hostまたは Guestボタンを選択してから回すことで、各 マイク入力のゲインを調整します。ノブの両 脇には2つのカーブ状のLEDがあり、複数の 機能を表示します。

ゲインノブの両脇にあるカーブ状LEDは、「ハ ロ」メーターです。左側はホスト用、右側はゲ スト用のマイク入力になります。

- これらのメーターはマイクレベルを示し ます。緑色は正常レベル、橙色はクリッ プに近いレベル、そして赤色はデジタル クリップを示しており、この状態は必ず 回避してください。
- またマイクがミュートになると、各メー ターが赤色に点滅します。

Vocaster two 48v 8 H A Host H A HOS

ゲインノブの内側の細いリングは、マルチ 機能の「ハロ」LEDです。複数の機能で動作 します。

- マイクゲインを調整しているときは白 色に点灯し、現在のゲイン値を表示し ます。
- オートゲイン調整中は、調整時間の終了 を知らせるカウントダウンタイマーとし て動作します。
- 各マイクプリアンプのオートゲイン設定 が完了すると、処理が正しく行われたと きはメーターが緑色、失敗したときは赤 色で点滅します。

ホストモニター出力レベルノブ-フロントパネルのホスト側ヘッドフォン出力

とリアパネルのスピーカー出力のレベルを 調整します。

ゲストモニター出力レベルノブ - フロントパ ネルのゲスト側ヘッドフォン出力のレベルを 調整します。 トップパネル(続き)

ボタン

Ŕ

マイクミュートボタン。ボタンを押すことで、 各マイク入力のミュートのオン/オフが切り 替わります。ミュート中は、LEDが赤く点灯し ます。

エンハンスボタン。ボタンを押すことで、各 マイク入力でエンハンス機能のオン/オフ が切り替わります。エンハンスが有効のとき は、LEDが緑に点灯します。



■■■■
ボタンを短く押すと、ホストもしくはゲスト側のマイクプリアンプがゲインノブに割り当てられます。長押しするとオートゲイン機能が有効になり、本番収録と同じようにマイクに向かって10秒間話すと、ゲインが調整されます。オートゲイン実行中は、LEDが橙色に点灯します。

48V

48Vファンタム電源をオンにすると、選択中 のマイク(ホストまたはゲスト)のLEDが赤く 点灯します。選択されていないマイクに対し てのみファンタム電源が有効の場合、LEDが 薄い赤色に点灯します。

インジケーター



接続されているコンピュータと通信中のとき は、LEDが白く点灯します。通信に失敗すると 赤く点灯します。

∦

BluetoothのステータスをマルチカラーLED で示します。スマートフォンやBluetooth機 器がVocaster Twoと接続されると青く点灯 し、双方向に音声をやりとりできることを示 します。 リアパネル



Power

ボタンを押して、Vocaster Twoのオン/オフを切り替えます。

*

Bluetooth接続ボタン:詳細は「Bluetoothを使用する」 (22ページ)をご参照ください。

48V

マイク入力用ファンタム電源スイッチ –ボタンを押す と、選択中のマイクチャンネルのXLRソケットで48Vフ ァンタム電源が有効になります。

USB 3.0ポート – タイプCコネクタ。付属のUSBケーブ ルでお使いのノートパソコンまたはコンピュータに 接続します。

R

ケンジントンセキュリティスロット ---ケンジントンロッ クでVocaster Twoの安全を守ります。

Ô

Vocaster Twoとビデオカメラの外部音声入力を接続 するための3.5 mm TRSジャックソケット。 対応するモバイル機器を有線接続するための3.5 mm TRRSジャックソケット。

Outputs L およびR – モニタースピーカー接続 用1/4インチバランスTRSジャックソケット。TRS (バラ ンス接続) もしくはTS (アンバランス接続) のいずれに も対応します。

Host および Guest

マイク接続用XLRソケット

フロントパネル:

(● ●) ホストおよびゲスト用ヘッドフォン出力ソケット。ここ にヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンの接続ジャ ックが3.5mmのミニジャックの場合は、3.5mm-1/4イ ンチ変換アダプターを使用してください。

仕様

性能仕様

以下の仕様は、お使いの機器がVocaster Twoで使用できるか確認するための参考資料になります。ただしVocaster Twoは、ほとんどの機器で使用できるため、これらの情報に関して知識がなくても問題ございません。

サンプルレート	
LISR	
038	
USB 3.0	
0.9A	
5V	
4 5\\\/	
	サンプルレート USB USB 3.0 0.9A 5V 4 5W

マイク入力		
インピーダンス	3ΚΩ	
最大入力レベル	+12.5dBu @ 最小ゲイン	
ゲインレンジ	70dB	
THD+N (@ -1dBFS)	≤-94dB	
周波数特性(20Hz@最 小ゲイン)	20Hz - 20KHz +0, -0.5dB	

7	/ォン入力
インピーダンス	16ΚΩ
THD+N (@ -1dBFS)	≤-94dB
最大入力レベル	0dBu
周波数特性	20Hz - 20KHz +0, -0.5dB

フォン出力		
インピーダンス	220Ω	
最大出力レベル	-26dBu	
THD+N	-73dB	
周波数特性	20Hz - 20KHz +0dB, -0.5dB	

ライン出力		
インピーダンス	440Ω	
最大出力レベル	+14dBu	
THD+N (@-1 dBFS)	≤-96dB	
周波数特性	20Hz - 20kHz ±0.15dB	

ヘッドフォン出力			
インピーダンス	5Ω		
最大出力レベル@ OdBFS	+6.5dBu		
最大電力(mW)	8.5mW(270Ω) 28mW(33Ω)		
THD+N	-96dB(無負荷時)		
周波数特性	20Hz - 20KHz ±0.5dB		

カメラ出力			
インピーダンス	220Ω		
最大出力レベル	-24.5dBu		
THD+N			
(最大出力 -1dBFS, 22Hz	-73dB		
- 22kHz)			
	20Hz - 20KHz ±0.2dB		

Bluetooth		
バージョン	5.0	
有効範囲	障害物のない空間で7メー トル	

focusrite.com

世界に向けて発信

物理的特性と電気的特性

	その他のオーディオ入出力
カメラ出力	3.5 mm TRSジャック(リアパネル)
フォン入力&出力	3.5 mm TRRSジャック(リアパネル)
ループバック入力	2 x ステレオ (Vocaster Hub経由)

	マイク入力
コネクタ	バランス、XLRメス(リアパネル)
ファンタム電源	48Vスイッチ(リアパネル)

重量および寸法		
重量	440g	
高さ	50mm	
幅	224mm	
奥行	113mm	

アナログ出力		
メイン出力	バランス、2 x 1/4インチTRSジャック	
ステレオヘッドフォン出力	1/4インチTRSジャック(フロントパネル)	
出力レベルコントロール (メ インおよびヘッドフォン)	トップパネル上	



世界に向けて発信

Vocaster DM14vマイクロフォン仕様

Vocaster HP60vヘッドフォン仕様

	カプセル
タイプ	ダイナミック
極性パターン	カーディオイド

性能		
感度 (0dB = 1V/Pa@1kHz)	-57dB	
周波数特性	50Hz - 16kHz	
インピーダンス (@1kHz)	200Ω	

電気的特性			
取付	標準5/8インチ、3/8-	インチアダプタ付属	
正味重量	655g		
本体寸法	直径 長さ	60mm 191mm	

	性能	
インピーダンス	32Ω	
感度	98dB ±3dB	
周波数特性	20Hz - 20kHz	
最大定格電力	1.2W	

物理的特性と電気的特性		
Туре	密閉型	
ドライバー直径	50mm	
ケーブル長	(約)3m	
コネクタ	3.5mmステレオジャック、6.35mm (1/4イ	
里重	288g(ケーフルを含む)	

トラブルシューティング



トラブルシューティング トラブルシューティングに関するご質問は、以下の Focusriteへルプセンターへアクセスしてください。 support.focusrite.com

著作権および法定通知

FocusriteはFocusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。VocasterはFocusrite Audio Engineering Limitedの商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の 所有者の財産です。 2022 © Focusrite Audio Engineering Limited.無断 転用禁止。 **クレジット** Focusriteは、本製品のために尽力してくれた以下の Vocasterチームのメンバーに感謝いたします。

Adrien Fauconnet, Alex Middleton-Dalby, Alex Wood, Andre Cerqueira, Anthony Nicholls, Ben Bates, Ben Cook, Ben Dandy, Bran Searle, Ben Cochrane, Chris Graves, Dan Weston, Daniel Clarke, Daniel Hughley, David Marston, Derek Orr, Ed Fry, Eddie Judd, Emma Davies, Harry Morley, Ian Hadaway, Jack Cole, Jake Wignall, James Johnson, James Otter, James Surgenor, Jason Cheung, Jed Fulwell, Jessica Chambers, Joe Deller, Kai Van Dongen, Linus Reitmayr, Luke Matthews, Martin Dewhirst, Mary Browning, Michail Fragkiadakis, Mike Richardson, Mukesh Lavingia, Orla Haigh、Pete Carss、Rob Stevenson、 Ryan Gray, Seraphin Gnehm, Steve Bush, Stefan Archer, Stratis Sofianos, Tom Cartwright, Vidur Dahiya, Vincenzo Di Cosmo, Wade Dawson